



コージーグループとは

病気や外傷によって脳に損傷を受け後遺症を持つ人たちが情報共有し、話し合って外出や調理などの活動を主体的に行い、自分らしく生きることを目指しているリハビリグループです。

今回の外出先は？

9月16日、雨模様の中、乃木坂にある国立新美術館に行った。生憎の天候にも関わらず、ピカソ展とルーヴル美術館展が同時に開催されていることもあってか、館内は多くの美術ファンで賑わっており驚かされた。まず訪れた「ピカソmeetsポール・スミス展」では自転車のサドルとハンドルが生命を宿す「牡牛の頭部」のユーモラスに出迎えられた。友人の死から深い憂いの青に沈む「青の時代」の『男の肖像』から、温かな色彩と柔らかな人間性が芽生える「バラ色の時代」の作品群を楽しみ、キュビスムの世界、そしてわが子を描いた『アルカンに扮したパウロ』等を鑑賞した。ピカソの自由な表現とスミスの鮮やかな色彩のコラボレーションに未知の世界に誘われたようだった。

続いて、同時開催の「ルーヴル美術館展」に足を運んだ。15世紀～16世紀のルネサンス期のルーヴル美術館のコレクションが紹介されており、日本初公開のレオナルド・ダ・ヴィンチの『女性の肖像（美しきフェロニエール）』やサンドロ・ボッティチェリの『5人の天使に囲まれる聖母子』、ルーカス・クラナハの『三美神』等、ルネサンス美術を堪能した。慌ただしいハシゴ鑑賞だったが、名品のエネルギーに圧倒されたあっという間の時間だった。

文章スギ



活動報告



発症から3年経ちました。

8/16で発症から丸3年経った。訓練を通して、記憶障害や麻痺など、自分なりに課題意識を持って訓練に取り組んでいる。発症直後のことを考えると、麻痺の度合いや高次脳機能障害の症状についてなど、病識が出てきてかなり改善・進歩したように思うが、改善した分、今後の道のりへの大変さも実感している。ここからさらに3年後にどのように成長できるのか、どのような自分になっているかをできるだけ具体化できるよう、日々考えながら、訓練を重ねていきたい。 文章：大

一言コラム

テーマ：習慣にしていること

大：クイックルワイパーで毎週土曜日に床の拭き掃除と水拭きを行っている。

よっちゃん：週末の外出！行って戻った時の、体力の無さを感じているので体力アップ！

スギ：構音障害のリハビリとして毎日舌回しや下出し等の体操をしています。

王者：ラジオ体操をすると、毎朝の気分が上がりますので習慣にしています。

まーくんママ：いっぱい撮った写真をアルバムにして、まとめています。

Picasso



ピカソはコラージュが素敵でした。またピカソのボーダーTシャツもかっこよかったです。文章：まーくんママ

ピカソは絵を書くイメージでしたが、ハンドルやサドルを使った立体作品を見て、こんなのもあるんだと驚いた。文章：王者



グループメンバーへのインタビュー！ *気分転換について

スギ：朝、1時間半程度、歩いたり、3kmのジョギングで汗をかいています。

王者：土日まとめて言われたことを思い出すと気分がすっきりします。

大：つきそい外出時に高次脳ならではの行動をヘルパーさんに説明している。

まーくんママ：沢山歩いて、散歩しています。

よっちゃん：土日に姉が住む江ノ島の家に行って、甥っ子と楽しく話すと良い気分になる!!



自立訓練からのお知らせ

インフルエンザが流行しています。入館前に体温測定、手の消毒、マスクの着用をお願いします。

ご意見 ご感想

皆様のご意見や読んだ感想などお聞かせください。参考にしてCOZYTIMESの内容を充実していきます。

setagaya.seijin@mt.strins.or.jp

東京リハビリテーションセンター世田谷 自立訓練